



# 毎日参拜

## 縣社で表彰

### 町内の敬神家

平町縣社小鐵倉神社では明日の新嘗祭を卜し午前十時より社頭に於て毎日欠かさず参拜に來る敬神者材木町松原嘉藏、磐中教諭中島茂三丁目佐々木長作、二丁目伊關太郎、同伊關次郎の諸氏を表彰する事になつたが材木町の松原嘉藏さんは盲目の身に杖をひきつゝ、毎日社前に額つき又二丁目の伊關兄弟は第一小學校の生徒でいつも午前六時には社前に頭をたれて居ると

### 高利債借換

#### 平町其他許可

大藏省豫金部に申請中であつた平上水道事業費の十一萬二千八百圓、小名濱小學校増築費五萬二千圓、湯本

井東鐵局長を迎へて舉行される

### 水産講習所の

#### 廳舎寄附

##### 小名濱で募集

小名濱町では縣會に提出された水産試験場新築移轉並に水産講習所新設等に對する地元負擔二萬五千圓の寄附を全町舉げて募集開始の様であるが水産試験場の舊廳舎は新築后同町に無償で交附される筈

### 費用を持ち寄り

#### 温室を建設して

##### 飯野村の自力更生

飯野村中堅農民同窓生廿餘名は自力更生の一方法として費用を持ち寄り同村小學校裏に幅四尺長さ二間の温室を目下建設中であるが竣功後は胡瓜茄子等蔬菜の促成栽培を行つて各地に販賣する計畫である

### 阿彌陀堂

#### 改築費交附

内郷村白水の阿彌陀堂の修繕に關しては先に縣土木課員が視察し文部省に申請の結果改築費として明年度に於いて約七千圓を交附されることになつた

### 除隊兵の歸郷

平町 謙田町木村忠雄君は去る二十日除隊を命ぜられ今二十日平着午後三時十七分に

### 平第一チーム優勝

#### 昨日の濱二郡學童排球競技

既報濱三郡各小學校兒童の第七回ドッチボール大會は昨日午後一時より平第一校グラウンドに於て井上、横田瓜田、根本、水竹、佐藤の諸氏審判の下に舉行、出場校は昨年の優勝久之濱校を始め十チームに達して夫々大奮戦の結果平第一校が左の戦績にて優勝し榮ある優勝旗を獲得した

### 婦人講習

#### 廿四日の協議

既報平町婦人會では昨日午後一時より第二校に於て最高幹部會を開き來る二十九日午前九時より第二校に於て開催される濱三郡女子青年團及び婦人會の幹部講習會に關し種々協議したが更ら

### 郡南新米

#### 目下出廻る

平穀物検査所管内の新米は目下收穫期の早い郡南地方より少數が出廻つて居るが一般の出廻りは一週間位遅れるものと見られて居る

### 支會事務打合

縣下各郡の町村長支會事務取扱吏員は來る廿六日午前九時より平町役場會議室に參集事務の打合せ及び未納費整理の件等に就いて協議する

### 平町人事

#### 回出生

▽三丁目二二 當時石城郡平窪村字上岡九三 馬目悦善氏三女宗子  
△紺屋町一 遠藤重一氏四男圭造

### 無事故表彰

#### 東鐵局長來平

平機關庫の走行三百万軒五ヶ年間無事故表彰祝賀會は來月四日同俱樂部に於て新



### 巷の話題

#### 目のない課長殿

赤々と燃えさかつてゐるストーブの前で二人の腰辨は語つてゐる『今度の工務課長さんは、えらうアスハルトには眼がさくそうかな』  
『でも、女には眼がさかんそうやが……』  
『毎日道路ばかり見てるさ』

#### 名古屋電話

『アハハハ、アハハハ』  
『酒落田お婆さん』  
『警察署で司法主任が一人』

かえ頭もかたくなりまんのやろ』  
『そや、そや、こないだも芝居見物に行きよつてニッコーされた島田の娘はんにえらう御馳走しよつたそうなが——ついお見かけしまへんが——と言つて笑はれたそう、眼がさかんらうたら、あらへんな』  
『アハハハ、アハハハ』

のお婆さんを熱心に取調べてゐる  
『お前は何歳かね』  
『はい、ついそれはもう廿年も前に死にあんして今は妻ではござへん』  
『耳が遠いのかア、お前の年はナ、ン、ボかといふのだ』  
『はい年ですかえ、へち十ヘチでむあす』  
『ホウ、し、お前の籍は？どこにある』

『はい、家の前に小さいのが流れてをりあんですが、その外はござへん』——青森電話  
めくら減法な話  
片目の與吉どんと、めくらの豊さんがばつたり道路で出逢つた  
『おい、めくら、いつか五十銭貸したつけな、返してくれよ』  
『何だ、與吉けえ、片目の』

くせによく見つけやがる、俺ア借りた覚えねえよ』  
『アレ、白眼むいてやがるふざけやがつて……』  
『あいた、こん畜生』めくら『片目』泥ボツツ』  
『おい、そうめくら減法にあばれちや困るぢやないか本署まで來い、來ないかッめくら言つてもきかなきや片目目にあわせるぞッ』  
水澤電話

御祝儀 仕出し  
法事

近日煮込みおでん  
始めます

錦水  
平・電四五四番

# 犯罪防止の

## 標語を募集

### 締切は来る廿七日

刑事協會平支部では最近各種犯罪が非常に増加し其の手段も年々精緻を極め捜査檢舉に一方ならぬ困難を極めて居るが犯罪の多くは一般民衆の犯罪に對する無關心と不注意に依る結果である爲め自警心を養成する事が犯罪防止に効果多かるべしとの見地から今回より

犯罪豫防に關する標語及びポスター圖案を懸賞募集する事になつたが締切は来る二十七日で優秀なる作品には左の如く夫々賞金を授與する

(標語)一等五圓一人、二等三圓二人、三等二圓三人(ポスター)一等十五圓一人、二等八圓二人

# 五千圓請求

## 酔つた運轉手の間違ひから惨死

### 遺族が慰籍料の訴訟

湯本町字寶海四八松本廣吉さんは昨年十一月三十日同町字水野谷自動車業失吹莊司氏所有トラックにて土浦町迄引越荷物を運搬したが其歸途午後十時頃茨城縣多賀郡小水津地内の東連橋に差掛つた際酒に酔つた運轉手の松田孝雄が向ふ見づに運轉した爲め道路より八尺下の水田に墜落腦震盪を起し死亡したので遺族妻マエ及び長女ケイは前記營業主と運轉手を相手取り平支部に五千圓の損害賠償並慰籍請求の事件を提起したが第一回の口頭辯論は来る十二月二十二日午前九時より中島才判長係り、關口、香西

# 詐欺常習

### 平署に捕る

安達郡針道村字陣場生れ窃盜前科五犯宗形安三郎(三七)は去月中平町三丁目カフェ「ヒロキ」事務武田キヨコ方で鎌田町に住む某官吏と偽り二圓餘の無銭飲食を働き本月五日には湯本町辰の口越後屋旅館に伊達郡飯野村呉服商鈴木徳次郎と詐稱して一週間の滞在宿代六圓餘を踏倒した揚句旅館女中荒川ノ

イ(三)の時、を窃盜逃走したので豫ねてより平署で各地に手配中去る十九日茨城縣助川署に檢舉された

# 賣らるる

### 身を兄の許に

茨城縣那珂郡上野村字泉二五農渡邊貞次二女ヤヨ(二〇)は家庭の事情で東京で娼妓に身賣りする事になつたのが是れを嫌つて去る十九日家出し内郷村方面で呉服行商をして居る兄を頼り潜伏して居るらしいと本日平署に捜査方を願出た

# 豊間局舎新築

### 豊間高等女學校では今二十二日

午前九時より一時間に亘り同校講堂に於いて東北帝大講師田中館秀三氏の「世界に於ける日本」と題する講演を傾聴した

# 汽車を出せ

### 無理難題を持ち掛く

# モンペ姿の狂女

## 尋二讀方研究

昨廿一日午後十時頃平署待合室でモンペ姿の女が「國へ歸るのだから早く汽車を出せ」と難題を持ちかけ驛員に喰つてかゝるので平署員が事情を聞いたが一ツ向要領を得ず各地に電話で照會した結果信夫郡渡邊村古内ミツ(四三)と云ふ精神病者と判つたが同人は去る十九日家人の隙を見て逃走無賃乗車で平町に入つたらしく本日駆付けた家人に身柄を引渡された

各小學校尋常科第二學年研究會は本日午後一時より第一校に於いて開かれ第一訓導根本菊義氏の讀方研究教授があつたが各校の出席者は左の如くである

(第一)平塚ムメ、松崎吉太郎、石山クニ(第二)先崎情、鈴木トク、海老原英、木村ヒデ(第三)吉田ミサオ、古川チヨ、佐藤右京

明日のラジオ

今晩の部

後六、〇〇 講演 大日本聯盟青年團常任理事 田澤義雄

後六、二五 ことばの講座 「古典と現代語」島津久基

子供の夕

後七、三〇 室内樂 アルメリア五重奏團

後七、四〇 童話劇 「子供繪本」名古屋一ツ星童話團

演を傾聴した

明日の天気

今晩は南西の風晴雲半し明日は西北の風天氣良

明日の

前九、三〇 (子供の時間) 童謡合唱、少年軍歌「いざ行かん」ロ、支那の兵隊さん外數種銀杏子供會々員、ピアノ伴奏、長谷基孝

前一〇、〇〇 記念講演 青年ラヂオ雄辯大會東北豫選「日本精神の發揮に就いて」宮城縣選出佐藤眞吾外五名

映畫とレヴューの午後

後〇、五〇 漫談「ボクの解剖」谷幹一

後一、一五 ラヂオレヴュー「凸凹ローマンス」古川緑波柏正子外大勢 解説

# 食ふや食はずで

## 悲惨のドン底に

### 内郷の貧困家庭十二

内郷村共濟會では貧困の家庭を救済すべく過般來調査中の處最も悲惨なドン底にある家庭は十二戸と判つた殊に綴羅前野菜行商小沼由藏(假名)さんでは家族十二人あり夫婦と子供二人は腸チブスに罹り目下隔離舎に收容中で残された者は毎日の衣食に窮し近隣の同情にすがつて露命をつなぎ又御厩方面には葬儀も出せず途方にくれた家庭もあつたと

# 地鎮祭

### 小川江工事

既報小川江筋組合の改良工事は諸般の準備を整へたので同組合では来る廿四日下小川村字關場宿源門地内に於いて左記順序の地鎮祭を行ふと

# 隔離舎の施設視察

### 平町では来る廿五日午前九

時より役場内に各區の傳染病豫防委員を招集して隔離舎の施設を視察すると

# 湯本消防檢閲

### 湯本町消防組の秋期消防檢閲は

来る廿八日午前九時より入山グラウンドに於いて行はれる

平職界の報告

回人を求める方

△小店員 十六才 尋卒

△小使 五十四才 尋卒

△表具見習 十六才 尋卒

△小商店後 二十前後 尋卒

△女中 二十位 尋卒

△洋服工 十五才 高卒

△給料面談(内郷村某)

△小使 五十四才 尋卒

△給料面談(平町某)

△菓子屋店員 三十九才 高卒

△給料面談(平町某)

△自動車運轉手 二十二才 尋卒

△給料面談(平町某)

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶馬琴演  
山本英春畫

第九十六回 徳川家に崇る村正

武將は我儘もの

刀劍は武士の魂だと云ふ事を申します、成程昔から名刀か加護に依つて九死に一生を得たなど云ふ例が幾らもあり、然れば高貴の御方も御護り刀として常に名刀を御傍へお置きになります、それに反して悪劍を所持致すと必ず其身に何か祟りがあるといふ、前にも申し上げた通り徳川家では御代々村正の刀を禁せられておりました、其が爲に幕府時代は大小名は固より如何なる人も假令村正を所持致して居つても、徳川家を憚かつて秘密に致して居つたと云ふ事でございます、茲に申上げるのも徳川家の御先祖清康、廣忠の兩君が村正の爲めに崇られたと云ふお話でございます、抑々此の徳川家は清和源氏の嫡流にて、徳川四郎義季より瀬良田次郎三郎清康、岡崎次郎廣忠と云ふ事、此の廣忠公の御子孫が竹千代君後に瀬良田元信、又源藏人元康と云ふ、其れより又姓を改めて徳川三河守家康となられました、随分御幼少の内から御苦勞を遊ばされた方でございます。



勇將同志故勝敗決せず、加之六十餘州何方とてし戦ひ無き地はなく、畏れ多くも上は一天萬乗の君の宸襟を煩はし奉り、公郷殿上人は是が爲に戦々恟々として目も當てられぬ有様、諸大名は今申す通り、互に敷地を切り取つて己れの領分を殖やさんと欲し、實に修羅道とは此事でございます、心されば萬人一人として、心安らかならず、朝に我が家にあつて夕に兵火の爲に焼かれると云ふ憂ひがあり、されば小藩の大名は已むを得ず心ならずも大諸侯の幕下に屬するといふ有様、此

れ、俗に二十八天下と申した位、駿河には百萬石の大家身今川義元といふ豪將があり、尾張國清洲には織田備後守信秀といふ猛將があつて、互に鎬を削り、吳越の思ひをして、戦ひ數年に涉りました、然れども何れも

ば織田備後守信秀は今川を討つにも、此の三州岡崎の徳川といふ小さな物があつて、家に仕ふる家來何れも猛卒にして、關東下向など致すに岡崎が邪魔になつてならん、寧ろその事廣忠を味方につけて今川との交はり絶つて、さうして東海道を平押に駿河まで来て、今川と雌雄を決しやうと考へたから、種々様々と奸策を構へて居りましたが、茲に三州荊谷の城主水野右衛門大夫忠政が己れの娘を廣忠の妻として子まで出来たと云ふ事を三四年経つまで備後守は知つて知らん顔をして居りましたが、これは奸智に長けて居るからであります、然るに此度竹千代君御出生、御夫婦の間柄は固より君臣上下喜びの眉を開くと云ふ時に織田信秀は水野を態々清洲まで招きました、水野は徳川とは縁を組んだが、其實今川には交誼はない、織田方に屬して居りましたから、信秀の招きに應じて尾州清洲へ荊谷から出張致し、信秀が忠政に信「遙々と三河路より是まで出張を申入れたる所早速の來來なき事に存する、家來を以て内意を申述べやうとは存せしが、若しや敵國に漏れては宜しくない」と存じ、自身招きました次第であるが、其事は外ではなし、只今まで一向心附かざりしが、足下が娘を以て岡崎の廣忠へ縁組を致し、殊に小兒まで出生に及びしとの事今までは更に知らず、

ウカ／＼と致して居つたが之實際の事であるか、眞實なれば少し考へねばならぬ事があるから、其故足下を遠路の所招いて密談をするのである、とうか包まず陳べられて貰ひたい。」と聞いて忠政は心中に不思議に思ひ、別段縁組の事などは大將の信秀が彼是云ふ事はあるまい、又態々三州荊谷から如何に幕下とは云ひながら、是まで呼付けると云ふは我儘なものでありと忠政も考へました。

御用印刷物の總代理  
常磐日印刷株式會社  
電話三六〇番

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

木村科醫院  
平町五丁目橋際  
電話九〇三番

かまぼこ製造  
お惣菜用 さつま揚  
吉原場  
平町一丁目  
電話一四一番

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

如何なる御家庭にもなくてはならぬ必需品……  
高級 日の出磨粉  
値段が安く而も極少量で何でもキレイになり、お手をアラス事なく僅かの時間で早くキレイになる衛生と緊縮とを兼備せる、眞に時代の要求品であります是非御試用の程おすゝめ致します  
特約店 芳賀商店  
平白銀町 (大音堂向)